

編集 後記

本号では、原著4編を掲載しております。中高年男性の食事に関する調査研究、向老期世代の地域への愛着尺度開発、介護予防事業の効果の検証に関する研究が計2編と、いずれも超高齢化社会が進展する我が国において高齢者が健康を維持し、地域で住み続けられる社会の実現に寄与する研究です。

1編目は、首都圏在住の中高年男性における主要な食事パターンは「副菜型」、「晩酌型」、「間食型」の3つで、そのうち野菜、果物、海草、きのこ、いも類が多く、ご飯が少ない「副菜型」が微量栄養素の栄養バランスが良好であることを示しています。今後、性差や地域性などが異なる集団においても検証されることを期待いたします。

2編目は、向老期世代における新たな社会関係の醸成のためのプログラム等で用いるための“地域への愛着”を測定する4因子23項目からなる尺度を開発し、信頼性・妥当性を検証しています。本尺度を用いた健康増進プログラムや保健事業等での実用性の検証を期待いたします。

3編目は、介護予防事業である近隣住民によるボランティアグループが運営する高齢者サロンへの参加が自立高齢者および要支援者・要介護者の精神的な健康を改善したことを報告しています。4編目は、運動、栄養、口腔の複合プログラムによる介護予防事業が一次・二次予防事業対象者の食習慣、運動習慣、生活機能、主観的健康感および社会活動を改善したことを報告しています。

2編の研究いずれも長期間、地域で実施してきた介護予防事業が、要介護度や生活機能で対象者を区別しなくても効果が認められたという貴重な報告と思います。

過日の第75回日本公衆衛生学会総会では、全国から多くの会員の皆様が参加され、研究成果や公衆衛生実践の報告および活発な意見交換がされておりました。公衆衛生実践の発展につながる知見を広く共有するためにも、できるだけ多くの発表者に総会での報告を本誌にご投稿いただきますようお願い申し上げます。（和泉比佐子）

次号予告（第63巻・第12号）

原 著

- 地域在住高齢者における社会的活動への参加と体力との関連……………生内由佳、他
妊娠前 BMI 区分やせの妊婦の栄養状態・食物摂取状況の特徴……………宇野 薫、他

公衆衛生活動報告

- 都市型準限界集落の地域づくりを目指した取り組み：阿品台いきいきプロジェクトの経緯と今後の課題……………眞崎直子、他
診療ガイドラインにおける禁煙推奨の位置づけに関する調査研究……………長谷川浩二、他